

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									
Q-1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1 暗騒音レベル									
2 機械騒音対策									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温設定									
2 稼働稼働・通風制御性									
3 外皮性能									
4 ゾーン別制御性									
5 断熱・遮熱対策									
6 換気制御									
7 断熱が劣化に対する配慮									
8 監視システム									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 照明器具のグレア									
2 昼光制御									
3.3 照度									
1 照度									
2 照度均斉性									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学物質汚染									
2 化学物質対策									
3 VOCs対策									
4 レジダント対策									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4 給気計画									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q-2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
1 耐震性									
2 免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数									
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									
3 配管・配線材の更新必要間隔									
4 主要設備機器の更新必要間隔									
2.3 適切な更新									
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2 配管・配線材の更新									
3 運用設備機器の更新									
2.4 信頼性									
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備									
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					2.9	0.29	2.7	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					4.6	0.12	2.4	0.50	
1 階高のゆとり				階高4.1m	5.0	0.60	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				躯体壁をわずら、軽量間仕切りを仕様。	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.12	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					2.6	0.76	-	-	
1 空調配管の更新性					2.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					2.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.5	0.40	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	空地を広くつくり環境を向上。	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	0.30	-	-	2.8
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	2.8
1 建物の熱負荷抑制	W				3.0	0.36	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用					2.7	0.20	-	-	2.7
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				2.4	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			高効率設備の採用。	2.9	0.36	-	-	2.8
4 効率的運用					3.0	0.08	-	-	3.0
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護					3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 節水	W			自動水栓及び節水型便器の採用。	4.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					2.7	0.85	-	-	2.7
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.43	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.10	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				-	-	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.21	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.21	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤を使用しない。	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.8
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					1.6	0.10	-	-	1.6
3.1 風害の抑制					1.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制					3.0	0.05	-	-	3.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.40	-	-	3.6
6.1 雨水処理負荷抑制	W			浸透枳の採用。	5.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	病院	-	-	面積按分 総合スコア
		2,474 m2	1,599 m2	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	3.0	3.0	-	-	3.0
3	設備システムの ERRIによる評価	-	データ未入力	-	-	2.854927116
	高効率化 個別設備による評価	4.7	-	-	-	
3.1	空調設備	-	3.0	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	8.0	5.0	-	-	-
3.4	給湯設備	-	4.0	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-